



# ふじさわ体協

発行・編集 藤沢市体育協会 〒251-0026 藤沢市鵠沼東3-2 秩父宮記念体育館内

URL <http://www.fujisawa-taikyo.org/>

1964

## 東京オリンピック

## 聖火ランナーの集い開催

10月10日(土)藤沢商工会館ミナパークで、藤沢市体育協会主催の「1964東京オリンピック聖火ランナーの集い」が、当時の聖火ランナー25名を含む関係者88名が参加して開催されました。

会場には、当時の写真やランナーのユニホーム・聖火のトーチ・ランナーの氏名が記載されたパネル等が飾られ、スクリーンには聖火ランナーの写真がスライドショーで映し出され歓声が挙がっていました。

来賓者のご挨拶は、鈴木恒夫市長・佐藤春雄市議会議長・吉田早苗教育長に頂きましたが、中でも教育長の、東京オリンピック開会のファンファーレは見事で、参加者から拍手が起こりました。

一部では「藤沢市役所入口」藤ヶ谷バス停前」を随走者の先頭で走った鈴木市長、「藤ヶ谷バス停前」龍口寺前」を随走者で走った金井正志郎さん、同じく随走者で走った飯島和男さん、分火リレー「観光センター前」江の島ヨットハウス前」を走った関水正章さんの4名でのトークショー、また二部では当日参加の聖火ランナーが、それぞれの思い出話で大いに盛り上がりました。

この集いは、「東京2020オリンピック・パラリンピック」でセーリング競技が、再度江の島会場で開催の決定を受け、オリンピック機運を盛り上げようと企画され、2020年まで毎年開催する予定です。

聖火リレーは、1964年10月7日、11時30分に藤沢市に入り、1時間かけ市内7ヶ所をリレーされました。聖火ランナーは正走者1名と副走者2名、随走者20名で構成され、走行時の姿勢や隊列など細かい規定が定められていました。正走者は、16〜20歳の男性で、随走者は中学生や女性にも委嘱されました。

藤沢市内のコースは7区あり、うち諏訪神社(二ツ谷稲荷神社)前、羽鳥バス停前の走者は、大和や相模原など、内陸部の自治体に割り当てられていました。オリンピックの開会式は10月10日に挙行されましたが、聖火は翌日、分火として藤沢市に帰ってきました。分火とは、メイソン会場である国立競技場に灯された聖火を、各競技場でも灯すものです。

最終走者は、江の島ヨットハーバーにそれぞれ分かれたのです。

各県はオリンピックの期待感を盛り上げるため、分火についてもリレーを行いました。

中央防波堤に造られた聖火台に移動し、内山岩太郎県知事の点火宣言と県警音楽隊のファンファーレのもと、17時30分に厳かに点火されました。



聖火ランナーの皆さん



皆で楽しくラジオ体操



8月22日(土)  
夏の朝陽と澄み渡った青空の下、すがすがしい夏の早朝5時30分にお年寄りから子供連れのご家族の藤沢市民が人工芝の秋葉台公園球技場に続々と集まってきました。

生放送の夏期巡回NHKラジオ体操では、6時の開会式に鈴木市長と主催者側の挨拶等があり、6時30分のNHKラジオ第一放送本番開始に備えてリハーサルが行われ、参加者、約2600人が球技場全体に広がり、生放送でおなじみの体操講師、多古肇先生とピアノ伴奏、加藤由美子先生から生放送中の注意とお願い等の指導で体操を何回も繰り返ししました。

10分間の生放送では、参加者全員の声と身体の動きが全て合い爽快なラジオ体操でした。

本番終了後は、体操のワンポイントレッスンの指導もあり、参加者の皆様からは今後はラジオ体操等で心と身体の健康増進を続けて行きたいとの声がありました。

最後は記念品を受け取り、7時10分終了、解散でした。今後も藤沢市体育協会としてもラジオ体操を推進している団体に協力していきます。

(武井)



# 平成27年度ラジオ体操 みんなの体操会に参加して!

# 初めての夏休み体験教室 (器械運動)

今年8月に藤沢市体操協会は、夏休み体験教室という初の試みを実施しました。

一人でも多くの子どもの体力・運動能力向上に貢献することを目的として、夏休み期間中に計4日間開催しました。

会場は、普段、体操教室でお世話になっている本町小学校体育館を使用させて頂きました。当日集まった参加者は、なんと、想定をはるかに上回る人数となり、盛況となりました。

藤沢市各地域から集まり、幼稚園生から中学生まで、実に120名(延べ)となりました。多い日では40名となり、体育館が狭く感じるほどでしたが、参加者も指導者も皆、楽しく体を動かし、とても有意義な時間を過ごすことができました。

参加者には、一人ひとりに修了証が手渡され、体育館を出て行く子どもたちの満足そうな顔が印象的でした。  
藤沢市体操協会では、市内各所で体操教室を実施していますので、興味を持たれた方は、ぜひ見に来てみてください。

(新村)



楽しく安全に跳び箱体験中!



# 全国高校野球選手権で優勝した 湘南クラブ出身の選手への質問



夏の全国高校野球選手権大会で45年ぶりに優勝した東海大相模高校のレギュラーで、湘南クラブポイズ出身の3人の選手にお聞きします。



杉崎選手



小笠原選手



長倉選手

Q1

湘南クラブポイズ時代の一番の思い出は。

長倉 中学3年生の時、第6回全日本中学野球選手権大会「ジャイアンツカップ」で優勝したことです。小笠原 長倉主将と同じです。杉崎 冬期練習です。

Q2

全国大会で優勝することはポイズ時代から目指していましたか。

長倉 もちろん目指していました。小笠原 目指していました。杉崎 入るときから目指していました。

Q3

45年ぶりの優勝でしたが、優勝できた一番の要因は何でしょうか。

長倉 (甲子園での) 昨年の敗戦からずっと「1点へのこだわり」を強く持ち続けたことだと思います。小笠原 チーム全員の徹底力です。杉崎 (チーム全員に) 絶対に勝つという強い信念があったからです。

Q4

野球を離れたときは何をして過ごしていますか。

長倉 寝ていることが多いです。(笑)  
小笠原 洋画鑑賞です。  
杉崎 友達と遊びます。

Q5

これからの目標を聞かせてください。

長倉 これからの野球で両親へ恩返しをしたいです。小笠原 1年目からプロで活躍をすることです。杉崎 大学日本一と日本代表選手です。

Q6

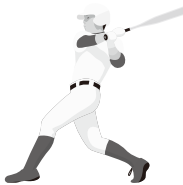
主将の長倉さんに主将として一番苦労したことは何ですか。

長倉 特にはないです！全員がやるべき事をやっと思ったと思います。

Q7

小笠原さんと杉崎さんに3年間で一番つらかったことは何ですか。

小笠原 僕はピッチャーだったのでランニングです。杉崎 朝5時半から練習したことです。



第97回選手権大会決勝

## 7年連続 ニューイヤー駅伝2016出場

プレス工業陸上競技部

第56回東日本実業団対抗駅伝競走大会で9位となり、第60回全日本実業団対抗駅伝競走大会への出場権を獲得。

昨年以上の順位をめざしてがんばってください。



# 第39回全日本都市対抗テニス大会に参加して



7月24日から岩手県盛岡市太田テニスコートで開催されました「第39回全日本都市対抗テニス大会2016希望郷いわて国体テニス競技リハール大会」に神奈川県代表として出場しました。

神奈川県は6回の全国優勝を誇る横浜市を有する全国屈指の激戦区ですが、昨年に引き続き県決勝戦でその横浜を撃破しての2年連続の全国大会出場となりました。(この試合は一般男女のシングルス、ダブルス、45歳以上男女のダブルス、55歳以上の男子ダブルスの計7ポイントで争われます。)

暑さ厳しい中、初日には1回戦徳島市と5-0の快勝、2日目の2回戦、雨の中での対戦となつた札幌市とも5-0と快勝致しました。

2日目は東北地方を強力な低気圧が覆い、激しい雨となりましたが2時間程の休止を挟み、準々決勝の沼津市との対戦が行われました。

沼津市は昨年度優勝チームで苦戦が予想されましたが4-1のスコアで勝利、最終日へと駒を進めました。最終日、快晴の空の下、準決勝、神戸市との対戦を迎えます。

昨年の和歌山市での同大会準々決勝で苦杯をなめた、神戸市とは最終戦の男子シングルスに懸かる接戦でしたが4-3で辛勝、決勝はここまで1ポイントを落しただけと快進撃の京都市です。「あとひとつ」とチーム一丸、心をひとつ



全日本都市対抗テニス大会準優勝

にして臨みましたが1-4と一歩及ばず、準優勝という結果と成りました。が、今回の藤沢市チームは今までも増して結束力のあるチームであったと自負しています。

それがこのような成績を収められたと来年以降の励みといたします。

鈴木市長をはじめ関係各位の方々よりたくさんのお励み、祝福の言葉を頂き、感謝しております。

今後より一層の高みに向け、準備をして参ります。

(平野)

## 春の叙勲受章祝賀会

藤沢市テニス協会名誉会長の藤田佳也氏が永年に渡りテニスの普及に尽力されたことが認められ、春の叙勲 旭日単光章を拝受されました。

この受章を祝し神奈川県テニス協会と本協会共催の祝賀会が8月8日(土)藤沢市民会館に市内外関係者約120名が集い、盛大に行われました。

これを機に同氏の偉業を継続し、テニスの普及振興に尽力する決意を新たにしたところです。

(齋藤)



藤田氏を囲んで

### 編集後記

ラグビーW杯での日本代表の活躍は、日本全体に勇気と感動を与えました。甲子園での東海大相模高校の優勝は神奈川県内の少年たちに夢をもたらしてくれました。

このようなトップのスポーツ選手の活躍は、底辺の広がりがあるこそ成り立つものであると思います。体育協会の広報誌の編集に初めて携わらせていただきましたが、トップを育てる裾野の充実のために、これからも微力ながら努めたいと思います。

年末から年始にかけて多くの競技が行われますが、藤沢に縁のあるチームや選手の活躍を楽しみにしています。

(杉淵 大川)

# 第31回 スポーツ人の集い

◆日時 平成28年2月20日(土) 午後3時～  
◆会場 藤沢市民会館小ホール

第1部 講演会  
第2部 式典  
藤沢スポーツ賞表彰式  
この1年間に活躍した選手・団体を表彰



渡辺元智氏

■プロフィール■  
神奈川県足柄上郡松田町出身。  
横浜高等学校硬式野球部前監督。  
同校硬式野球部監督を長年務め、同校を強豪校に育て上げた。

